

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

〔特集〕 問い直そう、保育の中のあたりまえのこと
「子どもに寄り添う」とは？

〔シリーズ〕 子どもが育つ場所を訪ねて
金沢市 木の花幼稚園

〔実践研究〕 保育事例をめぐる対話
虫を探している時間

秋 2011

since 1901

子どものまなざしの向こうに

目に見えて写っているものの向こうに、
見る者の心に映るもうひとつの子どもの世界が
聞こえてこないでしょうか。



「いいきもちだね！
あつたかいね」

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

目次

写真

子どものまなざしの向こうに	1
---------------	---

目次 プロローグ

自己評価	浜口順子	2
------	------	---

特集

問い直そう、保育の中のあたりまえのこと 3 「子どもに寄り添う」とは？

座談会	岩崎禎子・吉岡晶子・佐治由美子	4
-----	-----------------	---

子どもに「寄り添う」とは？	杉浦真紀子	14
---------------	-------	----

「子どもに寄り添う」とは？ — 感性を育む環境づくりの中で —	井上 寿	18
---------------------------------	------	----

「子どもに寄り添う」とは — 子どもと大人の具体的な生として —	金 允貞	22
----------------------------------	------	----

シリーズ

子どもが育つ場所を訪ねて

木の花幼稚園	伊集院理子	26
--------	-------	----

実践研究

保育事例をめぐる対話

虫を探している時間	宮里晁美	32
-----------	------	----

出会いを支える	篠原直子	39
---------	------	----

重なり合う時間	永倉みゆき	43
---------	-------	----

ている方、昔読んだことのある方の他に、授業で読んだという学生、歴史のある保育施設で働きその意味を問い続けている若い保育者もいらして、読者との多様な関係性を目の当たりにできたという収穫は大きかったです。シンポジウムのダイジェストは本誌に掲載されています（「ひろば」に参加者の感想の一部も掲載しました）。

園における自己評価の必要性が強調される昨今ですが、日常的なリフレクション（省察）が、自然と自己評価をめぐる対話を求め、次の行動への足場となっていくことに気付いた今回の自主シンポジウムだ。

報告

『幼児の教育』誌の現代的意義を考える

— 日本保育学会第64回大会 自主シンポジウムから —

(記録) 浜口順子

47

連載1 再読・倉橋惣三

倉橋惣三の「子どもの生活」理解を探る

— 保育の「生活」から 小学校教科「修身」へのつながり —

児玉衣子

54

連載2 保育随想

園のくらしを育む 15

— 帰りの会の振り返りとけじめ —

秋田喜代美

60

連載3 自然の目

ツブキ先生の虫のつぶやき 植物編

— 秋の困った“ひつつき虫” センダングサの作戦 —

津吹 卓

64

報告

子どもがいきいきと遊ぶ保育

— フィンランド クーリッカ市の実践(1) —

佐治由美子

66

情報・読者のページ

ひろば

71

エピソード 奥付

WEBページ・次号予告ほか

72

加ページ

自己評価

浜口順子

五月に玉川大学で開催された日本保育学会大会で、本誌編集委員会は、この『幼児の教育』誌の存在意義を問うために自主シンポジウムをもちました。ここ数年、どんな雑誌にすればよいのか考え試行錯誤してきたことをどう評価していただけているのか、公開の場で問いかけてみたいと思います。

このような企画にただただお客様が来てくださるから心配でしたが、二〇数名の方が、他のシンポジウムに出向く代わりに来てくださったこと、身に沁みてありがたく感じました。定期購読してください。

エピローグ

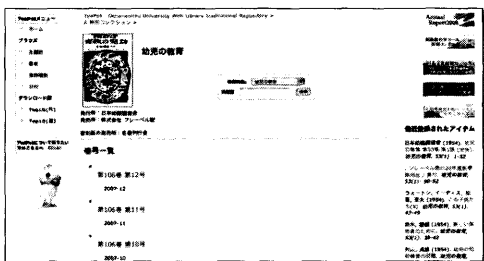
気持ちよさそうに寝転がっている三歳男児2名の口絵写真。あまりの気持ちよさに、思わず一緒に寝ている友達の耳たぶを触っている。二人の周り一面黄色く色づいた銀杏の葉が敷き詰められており、頭の下には袋いっぱい銀杏の葉が詰められた枕。枕を手にはすれば、横になって使ってみたくなるのが三歳児。使ってみると、ふわふわした感触、少し湿っぽい葉の香り、横になって見上げる空の高さ、そして安らかな気持ちなど、まさに体全体で季節が感じられる。

倉橋は「子供をして十分に四季を知らしめよ、四季を楽しませよ」という言葉を「幼稚園雑草」に残している。いろいろ大変な時代ではあるが、季節を体全体で感じられるような生活を子どもたちに、と思わずにはいられない。(伊集院)



『幼児の教育』バックナンバーをWEBページで公開中。

<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/3705/bulletin/>



明治34年発行の創刊号から、現在、平成20年発行の第107巻までご覧になれます。

なお、自由投稿、「ひろば」への情報などもお待ちしております。

nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp まで。

次号予告

幼児の教育 冬号 2011年12月刊行予定

特集 問い直そう、保育の中のあたりまえのこと
— 幼児期の「仲良し」ってどんなこと? —

シリーズ 子どもが育つ場所を訪ねて
— 広島大学附属幼稚園 —

実践研究 保育事例をめぐる対話
— チョークアートを楽しむ —

幼児の教育 秋号 第110巻 第6号

平成23年10月1日発行
編集発行人/浜口順子
編集担当/田中恭子
発行所/日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館
電話/03-5395-6657(編集)
振替/00190-2-19640
印刷所/図書印刷株式会社
定価/750円(本体715円)
©日本幼稚園協会 2011 Printed in Japan

編集協力/フレーベル館
編集スタッフ/伊集院理子
菊地知子
佐治由美子
宮里咲美
吉岡晶子

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

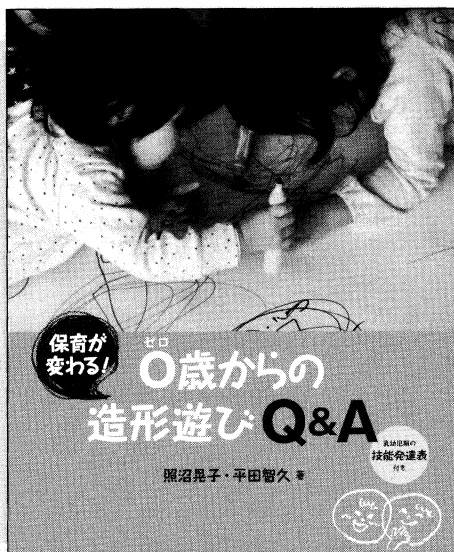
保育が変わる！

照沼晃子、平田智久／著

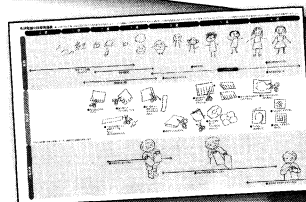
0歳からの造形遊びQ&A

造形遊びの「困った！」
に答えます！造形遊びの“困った！”に答える実践
本。子どもの見方のヒントや素材の常
識、保護者への伝え方を紹介します。

26×21 cm 80 ページ 定価 1,890 円 (税込)

子どもの見方・
保育の視点がわかる！環境設定の具体的な
アイデアや言葉かけの
ポイントなど、実践に
役立つ内容です。

10926

素材の選び方や
楽しみ方がわかる！「乳幼児期の技能発達表」
付き。造形遊びにおける
子どもの育ちが
わかります。キンダーブックの
プレーベル館

◀ポイントを
再確認！

くらしの素顔

保育の場の子どもたち

秋田喜代美

くらしの
素顔
保育の場の子どもたち



10931

ポイント1

秋田喜代美先生の待望の最新刊！

著者が園の生活に立会い、保育の本質を探った第一部には、日々の保育のヒントとなるエッセンスが満載です。

ポイント2

園の生活を描いた絵本の読み解きが面白い！

書き下ろしの第二部では、定番～新作まで12冊の絵本を研究者の視点で読み解きます。普段読み聞かせている絵本の奥深さに触れて、保育の幅がぐ～んと広がります！

保育実践の現場から著者が感じ考えた園のくらしについての13の思索と、園生活を描いた12冊の絵本の解説より、目の前の子どもの素顔から、園のくらしのあり方、保育の本質を問い直すことができます。

- 著者／秋田喜代美
- 価格／1,365円（税込）
- サイズ／21×15cm
- ページ数／152ページ

「幼児の教育」
園のくらしを育む

連載中

連載第1回～13回までを収録！



キンダーブックの **フレーベル館**

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部 (03) 5395-6608にお問い合わせください。